

あかばね

ひらがな

No54

しんぶん

“教室展 2011” 開催中 です

2月1日から27日まで 第5回 あかばねひらがなの会 “教室展2011”を サンテパルク たはら サラダ館2F ポケットミュージアムで 開催しています。連日 サンテパルクを 訪れる多くの 人たちが ミュージアムを のぞいてくれています。

ある日 会場には こんな メッセージを 書いてくれた 人もいました。「1枚1枚を 眺めていると ニコニコして 声をかけてくる みたいに 感じます。どれも 素敵な作品ですね。また 来年も 楽しみにして いますよ。」…… とか、「浜松市から 来ました。去年も ここの会場で 教室展を 見せてもらいました。きれいに 描けていますね。」等など…いろいろな人が 感想を書いて くれています。みんなの 成長を 見ていて くれるのですね。来てくださった 皆様方 ありがとうございます。

2月11日には ティーズTV “HOTステーション”で 放映され たくさんの人にも 知ってもらいました。まだ あと もう少しです。

また、3月は、豊橋商工信用組合赤羽根支店さんから 展示依頼を 受けたので 近場でも 楽しんでください。



第3回 多文化研修 “お伊勢参りと おはらい町” 散策



◎田原国際交流協会主催の多文化研修が2月13日(日)実施されました。今年の参加者は大型バス2台、約100人です。バスの中は、はじめて出会う市内で暮らす外国人がたくさん居ましたが、みんな すぐに知り合いになり活発な交流が進みました。また、研修生の中には「日本語検定」受験を目指して勉強をしている人の姿もありました。伊勢では、「大木と…神社の中を…歩いて…また、歩いて…薄暗くて…」日本文化の奥ゆかしさにふれ、オーラを感じ取っていたようです。「船に乗ったことが無かったので、帰りのフェリーが心配でしたが、大丈夫でした。」等など 初体験の旅は、大切な記録となつたことでしょう。また来年ネ！(TO)

今月の おすすめする絵本

「落語の絵本・じゅげむ」

川端 誠 作・ クレヨンハウス発行
作者の 川端さんは 落語の絵本を 作っていて
気づいたのは 落語には 女の子が まったく
登場しないんですね。そこで「じゅげむ」では 登
場シーンを 作って みました。

おとなたちが 長い名前を しんけんに くりかえ
すことは なかなかの 皮肉で あります……。
なんやかと 子どもに 口で言って聞かせようと する
前に 子どもの 名を 百遍でも くりかえして そ
の後に どうしても 言いたい事があったら……
くらいで いいのかも しませんね。

クライマックスでの 名前の くりかえは やめ
にして 全体で 3回の 「じゅげむ じゅげむ……」
に とどめてあるから みんなで 練習してね。

雪が 積もりましたね。(2月11日)



朝から 雪が 降っていました。「あ~っ」という間に 家の
周りは 雪景色に なってしまいました。TVの 予報を 見て
いると あちらも こちらも 通行止めの 情報が 出ています。
この日 スタッフさんたちは 豊川市で 開催される 東三河ボ
ランティア集会へ 出かける 日です。心配しましたが、社会
福祉協議会の 人達と共に 充実した研修を してきました。

あかばねひらがなの会 第4回「しみんの ひろば」 参加

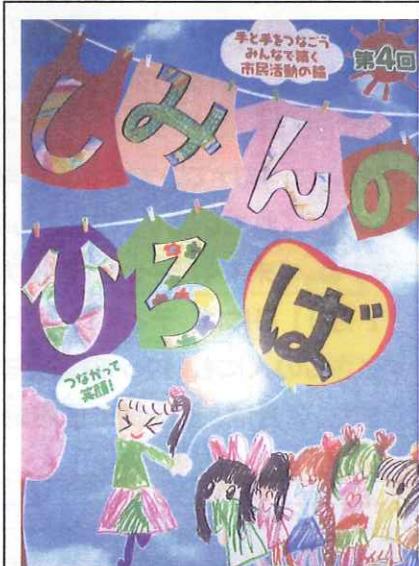
・日時:2011年1月30日(日)10:00~15:00

・場所:田原文化会館 多目的ホール 及び 周辺

◎ 講演会は「名古屋市の 堀川は 市民の手で よみがえった！！」
講師の 服部 宏さんは「汚れた川は 多くの人の手で 魚が 住める
までに なりました。」と 悪戦苦闘の 体験を 話されました。

◎ 東三河「どすごい交流会」も 同時開催され「どすごいネット」を 運営
している 市民活動推進協議会との 交流も展開されました。

◎ ブースでは出展～展示・体験等 田原市内の市民活動・ボランティア
活動を している人たちの 参加で 交流が活発に 繰り広げられ 多
くの人々が 集まりました。どこのブースも 年々立派になっていますね。



すごいですね…！ ひらがなの会の人
が 3人も 天才賞を もらったんですよ！
いくつになっても 天才是 あこがれます
ね…。おめでとうございます。天才さん

会場内で すてきなヘア
ーススタイルの 子どもさん
発見。お母さんに 聞くと
「2時間ほど かけて プ
ロに 編んでもらいま
した。」との事。キッズダン
スのメンバーさんでした。

体験コーナーは おなじみの
「こんにちは クイズ」です。
来年は 何にしようか？？。どの
ブースも毎年すてきな取組がなさ
れています。今から準備を…。

ベトナムの お正月

第36回 なごや民間大使 ウォン・ファン・チャン(ベトナム)

農業国であるベトナムは新暦と共に旧暦も使って農・林・漁業の生産活動及び伝統的な祭りや

民間行事を行います。なかでも旧正月(テト)はベトナム人にとて年中で大きなイベントです。

テトになると遠い所で働いている人も故郷に帰ります。家族団らんで新年を迎えるのは何よりです。この時期家の軒先と室内は金柑・菊・桃の花(北部)・梅の花(南部)が日本の門松のように飾られます。その赤や黄の色彩は新年の幕開けを祝福するかのように華やかです。

テト料理は時代とともに少しずつ変わってきましたが、いまだに欠かせないものはやはりパンチュン(ベトナム風お餅)と西瓜・ラッキョウです。日本と違ってベトナムでは西瓜が新暦の1月頃にできますのでちょうどテトの時です。大晦日の夜12時家族でワインなどで乾杯して「チュックムンマムモイ」(新年おめでとう)と言った後西瓜は切られます。

ベトナム人は西瓜の果肉の色と甘さに新年の運が表れると信じているので西瓜を切る人はちょっと緊張します。だれもが果肉の赤い甘い西瓜が欲しいのでテトの時はおいしい西瓜の値段は普通より倍も高くなります。

テトは伝統的に三日間にわたって楽しめます。元旦は家族と二日目は親戚と三日目は同僚や友達と過ごすのが一般的です。

私の高校時代まではテトには爆竹を鳴らしていました。爆竹の音を聞くとテトを思い出したのですがいまは安全のため鳴らさなくなりました。爆竹を手作りするのを楽しみにしていた男の子には寂しくなりましたが爆竹が怖い私はホッとしています。いま日本では仕事をしている私にとって爆竹の音にかわって懐かしいのはインターネットで聞く大晦日の夜恒例の国家主席の新年挨拶です。

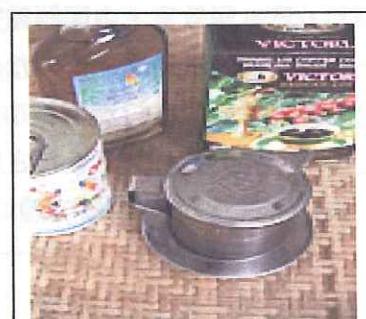
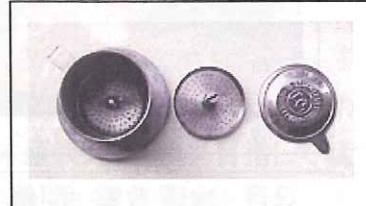
(寄稿)

ベトナムコーヒーの淹れ方

先日ベトナムコーヒーを会へ持ってきててくれた人がいました。コーヒーは粉で金属製のフィルターが付いていましたが使い方がわからなくて困りました。そこで今回はベトナムコーヒーの淹れ方についてご紹介します。

1. コーヒーフィルターを分解して一番下にコーヒーの粉をたっぷり入れ(フィルターの5分の2くらいまで)コーヒーカップに載せる。
2. 中ぶたで上からギュっとおさえる。好みでラム酒をちょっとだけ加える。
3. 沸かしたての湯を少量入れて蓋をして5秒程度おく。
4. 蓋を開けてお湯をそそぎ再度、蓋をしてぽとぽとコーヒーが落ちてくるのをゆっくり待つ。(出来上がり…)

ベトナムコーヒーは金属製のフィルターを使って淹れるのが特徴です。もともと、このフィルターはフランスで使われていたのだそうですが、現在のフランスではほとんど使われず、姿を消してしまっていることです。田舎に行って路上の椅子だけのカフェで飲んでも、コーヒーを注文すれば出てくるのはもちろんこのコーヒーフィルター。のんびりとコーヒーフィルターから落ちるしづくを待ちながら親しい友人と話をする時間はコーヒーの美味しさを倍増…だそうです。



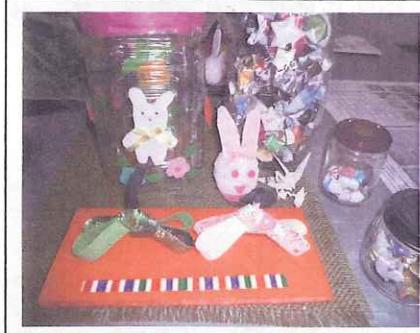
はやみひょう		は ハ	ひ ヒ	ふ フ	へ ヘ	ほ ホ	だ ダ	ぢ ヂ	づ ヅ	で デ	ど ド	ひや ヒヤ	ひゅ ヒュ	ひよ ヒヨ
		ま マ	み ミ	む ム	め メ	も モ	ば バ	び ビ	ぶ ブ	べ ベ	ボ ボ	みや ミヤ	みゅ ミュ	みよ ミヨ
あ ア い イ う ウ え エ お オ		ya ya	yu yu	yo yo	pa pa	pi pi	pu pu	pe pe	po po	rya rya	ryo ryo	りや リヤ	りゅ リュ	りよ リヨ
か カ き キ く ク け ケ こ コ		ら ラ	り リ	る ル	れ レ	ろ ロ	き キヤ	き キュ	き キョ	ぎ ギヤ	ぎ ギュ	ぎ ギョ	ぎ ギュ	ぎ ギョ
さ サ し シ ス シ せ セ そ ソ		わ wa	ん n(m)	を wo	しゃ sha	し shu	し sho	じ ja	じ ju	じ jo	じ ju	じ jo	じ ju	じ jo
た タ ち チ つ ツ て テ と ト		が ガ	ぎ ギ	ぐ グ	げ ゲ	ご ゴ	ち チャ	ち チュ	ち chu	ち cho	び bya	び byu	び byo	び byo
な ナ に ニ ぬ ヌ ね ネ の ノ		ざ ザ	じ ジ	ず ズ	ぜ ゼ	ぞ ゾ	に ニヤ	に ニユ	に nya	に nyo	ぴ pya	ぴ pyu	ぴ pyo	ぴ pyo

教室だより

“しみんのひろば”に参加(1月30日)田原文化会館にて



“教室展2011”(2月1日～27日)サンテパルクたはら にて 開催中



3月 水曜教室 開催

・日本語教室・中国語教室
3月は 不定期開催のため
受講希望者は 赤羽根市民館
へ 問い合わせてください。
(☎45-5210)

日曜教室 開催日

題材:木の工作
開催日:3月20日(日)
13:30～15:00
場所:赤羽根 市民館

・このしんぶんは、多文化交流を目指し発行しているものです。

・HP現在調整中なので…

【あかばね ひらがなの会】検索

管理人ブログ→をどうぞ